

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 古典・名言から学ぶリーダー訓 2

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

### 古典・名言から学ぶリーダー訓 2

#### =最大の説得力は実践だ！=

人間の価値を直接に表すものは、その人の所持するものではなく、その人の為すこともなく、ただ、その人が有る所のもの（ひととなり）である。（A・H・サミエル）

中国の古典にも「事ヲナスニ、コレヲ命ズルハ、コレヲ論スニシカズ。コレヲ論スハ、ソノ実ノ例ヲ示スニシカズ」。

太平洋戦争の末期、山本五十六元帥が座右とした道歌に「やってみせて いってきかせて させてみて 褒めてやらねば 人は動かじ」というのがあがあるが、これこそ「説得」のノウハウである。

サムライ・ニッポンを代表する軍神・橘中佐が書き遺した『兵の教育始動要綱』に、こんな文句があった。

「兵、汗を拭わざれば拭うべからず。兵、休まざれば休むべからず。兵、食わざれば食うべからず。兵と難苦を同じうし、労逸を同じうする時は、兵も死を約すものなり」 明治以来、底流として日本陸軍に脈づっていた「理念」でもある。

「相互信頼を本物にするために、まず、自分自身が他から信頼される人になろうと努めよ。信頼を相手に要求してはならない。」

信頼されるにはどうしたらいいか。

王子製紙の中島慶次元会長は、「信頼されるには、先輩に対する礼儀と後輩への温情に加えて、正しい機会に堂々と意見を述べる勇気がなければならない。」

何でもハイハイと頭をさげるだけの部下は信頼されない。また、信頼の第一義は「然諾を重んずること」だ。つまり、いったん『よし』と引き受けた約束は、必ず実行するということだ」と規定し、元阪急電鉄相談役の清水雅は「何でもよい。一つの仕事に精進しなさい。〈これなら、あの人に頼もう〉と他人が思うようになれば、もう人格ができあがっている」という。

中嶋元会長は「信頼」を表から説明し、清水元相談役は裏からとらえているのだが、土光経団連会長自身は「信頼の基準」を五つ挙げている。

1. 相手の立場に立って物を考える。
2. 約束はきちんと守る。
3. 言うことと行うことを一致させる。
4. 結果をごまめに連絡する。
5. 相手のミスを積極的にカバーする。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.